



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社 コメ兵
コード番号 2780 URL <http://www.komehyo.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 鳥田 一利

TEL 052-249-5366

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,340	24.4	719	136.2	719	138.1	438	148.3
25年3月期第1四半期	7,509	—	304	—	302	—	176	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 439百万円 (152.7%) 25年3月期第1四半期 173百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	40.02	—
25年3月期第1四半期	16.12	—

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第1四半期に係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	21,463	13,783	64.2	1,258.05
25年3月期	20,170	13,453	66.7	1,227.92

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,783百万円 25年3月期 13,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,570	16.1	856	72.0	834	69.9	501	80.8	45.73
通期	36,745	6.9	2,289	8.8	2,279	8.7	1,344	7.4	122.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年8月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 株式会社オートパーツKOMEHYO、除外 1社 (社名)
 当第1四半期連結累計期間において、株式会社オートパーツKOMEHYOを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	11,257,000 株	25年3月期	11,257,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	300,369 株	25年3月期	300,369 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	10,956,631 株	25年3月期1Q	10,956,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による経済政策、金融政策への期待感から、景気回復の兆しが見られ、個人消費が底堅く推移しましたが、欧州諸国や新興国の経済停滞などが影響し、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

リユース業界におきましては、消費者の低価格志向が高まったこと、及び、循環型社会への移行により業界全体が注目を浴び、生活用品・低額品の需要が堅調に推移したことに加え、個人消費の緩やかな回復に伴い、高額品や嗜好品は徐々に持ち直しの動きが見られました。また、インターネットによる中古品売上の普及・拡大に加え、一部では他業界との提携や資本受入等の動きも見られる等、様々な要因により買取・販売競争は激化の一途を辿っております。

このような環境の下、当社グループは組織力の強化、販売力の強化、販促活動の拡充、オンラインストアの強化、内部統制の推進、教育制度の充実等、様々な経営施策に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。

主な取り組みといたしましては、既存店での販売強化を目的として平成25年4月にコメ兵本館をリニューアルオープンした他、リユース衣料流通の活性化によるアパレル市場の拡大を目的として平成25年6月より「レストランオークション名古屋 by KOMEHYO」での「アパレルオークション」を開催・運営しております。

また、タイヤ・ホイール事業の強化を目的として、株式会社オートパーツKOMEHYOを平成25年5月に新たに設立いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,340百万円（前年同四半期比24.4%増）、営業利益は719百万円（同136.2%増）、経常利益は719百万円（同138.1%増）、四半期純利益は438百万円（同148.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、「ブランドリユースショップ」10店舗、「買取センター」4店舗、「LINK SMILE」8店舗、及び「USED MARKET」3店舗であります。

中古品仕入高につきましては、TVCM等による積極的な買取促進や適正な買取価格の設定等により、個人買取が概ね順調に推移したことから、個人買取仕入高は3,944百万円（前年同四半期比32.0%増）となりました。

売上高につきましては、前期新規オープンした販売店舗8店舗の出店効果、本館改装による集客力アップ、オークションへの取り組み、店舗でのキャンペーンの実施等が奏功したことに加え、中古品仕入が順調であったこと等により好調に推移いたしました。

利益面につきましては、人件費の増加等の影響により、販売費及び一般管理費が増加したものの、適正な買取及び販売価格の設定、中古品の売上高構成比率の向上に引き続き注力したこと等により売上総利益、営業利益は好調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は8,520百万円（前年同四半期比27.8%増）、営業利益は754百万円（同188.6%増）となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ・ホイール事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、14店舗であります。

当第1四半期連結累計期間は、自動車用品小売業界全体が弱含みで推移し、高額商品を中心に売上高が伸び悩み、前年同四半期に比べて減収となりました。

利益面につきましては、オンラインストアのリニューアル及び新規出店に伴い販売費及び一般管理費が増加したこと等により営業損失に転じました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は795百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業損失は42百万円（前年同四半期は35百万円の営業利益）となりました。

③ その他の事業

当第1四半期連結会計期間末の当社の不動産賃貸物件は5カ所であります。

当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は34百万円（前年同四半期比215.3%）、営業利益は7百万円（同6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,657百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,047百万円増加いたしました。これは主に売掛金が161百万円増加したこと及び、たな卸資産が872百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は7,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が220百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、21,463百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,292百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,059百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,200百万円増加し、未払法人税等が212百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,269百万円となり、前事業年度末に比べ97百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が108百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,679百万円となり、前連結会計年度に比べ962百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ330百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益百438万円及び剰余金の配当109百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.2%（前連結会計年度末は66.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては当初の見込みを上回り、平成25年4月度から6月度の売上高が順調に推移したことから第2四半期（連結）累計期間の業績予想を修正しております。なお、通期の業績予想に変更はございません。詳細につきましては、本日（平成25年8月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、株式会社オートパーツKOMEHYOを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,609,167	1,562,077
売掛金	1,356,841	1,518,389
たな卸資産	8,322,339	9,195,164
その他	1,322,307	1,382,040
流動資産合計	12,610,655	13,657,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,903,148	3,079,133
土地	1,673,267	1,673,267
その他(純額)	600,327	645,151
有形固定資産合計	5,176,743	5,397,552
無形固定資産	405,152	389,543
投資その他の資産	1,977,982	2,018,406
固定資産合計	7,559,878	7,805,502
資産合計	20,170,534	21,463,174
負債の部		
流動負債		
買掛金	515,578	572,570
短期借入金	1,250,000	2,450,000
1年内返済予定の長期借入金	890,923	813,411
未払法人税等	516,335	304,045
賞与引当金	317,176	402,553
役員賞与引当金	12,110	3,220
商品保証引当金	9,772	11,282
ポイント引当金	50,893	53,483
その他	787,444	799,274
流動負債合計	4,350,234	5,409,841
固定負債		
長期借入金	1,313,599	1,205,028
退職給付引当金	238,197	252,592
役員退職慰労引当金	433,530	433,530
商品保証引当金	1,157	4,307
ポイント引当金	26,662	29,992
リース債務	253,305	235,480
資産除去債務	73,365	82,452
その他	26,590	25,969
固定負債合計	2,366,408	2,269,354
負債合計	6,716,642	7,679,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	9,808,121	10,137,030
自己株式	△80,066	△80,066
株主資本合計	13,441,707	13,770,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,184	13,363
その他の包括利益累計額合計	12,184	13,363
純資産合計	13,453,891	13,783,979
負債純資産合計	20,170,534	21,463,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	7,509,884	9,340,776
売上原価	5,084,793	6,365,367
売上総利益	2,425,091	2,975,408
販売費及び一般管理費	2,120,338	2,255,449
営業利益	304,752	719,959
営業外収益		
受取利息	363	501
受取配当金	847	885
受取手数料	1,916	2,120
助成金収入	980	125
協賛金収入	—	1,700
その他	309	975
営業外収益合計	4,416	6,308
営業外費用		
支払利息	6,907	5,958
その他	100	916
営業外費用合計	7,007	6,875
経常利益	302,161	719,393
特別利益		
受取保険金	—	17,145
役員退職慰労引当金戻入額	1,758	—
特別利益合計	1,758	17,145
特別損失		
固定資産除却損	14,083	11,423
特別損失合計	14,083	11,423
税金等調整前四半期純利益	289,836	725,115
法人税等	113,236	286,640
少数株主損益調整前四半期純利益	176,600	438,474
四半期純利益	176,600	438,474

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	176,600	438,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,639	1,179
その他の包括利益合計	△2,639	1,179
四半期包括利益	173,961	439,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,961	439,654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。